

太陽の季節 (1956)

メディア 映画

ジャンル ドラマ 青春

製作国 日本

色彩 B&W

時間 89分

初公開日 1956/05/17

【解説】

芥川賞を受賞した石原慎太郎の同名小説を、古川卓巳が脚色・監督した青春映画。慎太郎の実弟である石原裕次郎が本作でデビューを果たした。本作の後に公開された「処刑の部屋」「狂った果実」とあわせて「太陽族映画」と称された。

高校生の津川竜哉はボクシングと酒と女と喧嘩に明け暮れる日々を送っていた。仲間たちと銀座に出た竜哉は武田英子と知り合い、二人は逗子にある竜哉の家で結ばれる。竜哉と英子はデートを重ね愛情を確かめ合うようになるが、英子が想いを募らせていくのと反対に、竜哉はだんだん英子のことが煩わしくなっていた。竜哉は兄の道久に英子を五千元で売り飛ばす。英子は竜哉の子供を身ごもっていたが、竜哉に始末しろと言われてしまう。

【クレジット】

監督 古川卓巳

製作 水の江滝子

原作 石原慎太郎

「太陽の季節」

脚本 古川卓巳

撮影 伊佐山三郎

美術 松山崇

編集 辻井正則

音楽 佐藤勝

助監督 山崎徳次郎

出演 長門裕之 津川竜哉

三島耕 兄・道久

清水将夫 父・洋一

坪内美詠子 母・稲代

南田洋子 武田英子

東谷暎子 幸子

小野三津枝 由紀

市村博 佐原

佐野浅夫 江田

石原裕次郎 伊豆

野口一雄 西村

沢井謙 田宮

須藤孝 松野

吉田光男 拳斗選手

関弘子 エルザー

南部美野	サリ
久場礼子	マリー
河上敬子	ミッチー
明石淳子	ジェリー
紅沢葉子	英子の母
岡田真澄	バンド・マスター
三鈴恵以子	女給
松原京子	海水浴場の女
阿部幸四郎	審判
石原慎太郎	サッカー選手
福田トヨ	菓子の子の女中
花村信輝	顔役
八代康二	顔役